

# 带状疱疹ワクチン接種 助成をすべきでは

高松 幸雄 議員



本年10月から事業開始を考えている  
健康子ども部長

	生ワクチン	不活化ワクチン
対象	50歳以上	
費用	約8千円	約2万円
回数	1回	2回
予防効果	約51パーセント	約97パーセント
持続期間	約5年間	約10年間
助成額	4千円 1回	5千円 2回

▲带状疱疹を予防する2つのワクチンを比較

**問** 带状疱疹の予防には、带状疱疹ワクチンが有効だが、带状疱疹予防接種は保険適用がない。

**答** 接種費用は、予防効果の高い不活化ワクチン接種では必要な2回分で計4万円がかかる。最近では近隣市町村でも費用の一部を補助するようになった。本市でも带状疱疹ワクチン接種助成をすべきでは。

**答** 事業実施に向けた必要経費の補正予算案を計

上して準備を進めている。令和5年10月1日からの事業開始を考えている。

**問** 带状疱疹ワクチン接種助成の対象者、助成額、申請方法は。

**答** 対象はワクチン接種日の時点で年齢が満50歳以上の愛西市民で、10月1日以降に带状疱疹ワクチンを接種された方。助成額は生ワクチン4千円、不活化ワクチンは2回接種が必要のため、1回5

千円で合計で1万円。

接種費用は生ワクチン約8千円、不活化ワクチンが1回につき約2万円なので2回で4万円ほど必要。

医療機関でワクチン接種を受けた後、領収書などの必要書類を添えて保健センター窓口へ申請してもらう。

## 新生児聴覚検査費用助成の進め方は

**最近では、新生児聴覚検査の補助をする自治体が増えていますが、新生児聴覚検査助成をどのように進めていくか。**

**答** 事業実施に向けた必要経費の補正予算案を計上して準備を進めている。令和5年10月1日からの事業開始を考えている。

**問** 検査には、医療機関によって2千円から1万円ほど費用が必要。検査の助成額と支給の方法は。

**答** 初回検査分のみ上限5千円。検査を受診後に領収書等の必要書類を添えて申請してもらう。

## その他の質問

- 補聴器購入費の支援拡大を
- 男性用トイレにサンタリーボックスを

**問** 生まれつき音を聞くことが困難な先天性難聴児は、生まれたときに新生児聴覚検査を受けることで、生まれつきの難聴を早く発見して治療を行うことができるが、この検査は保険対象外で検査費用は全て自己負担となるため、検査費用の2千円から1万円が負担となり、1割の新生児が聴覚検査を受けていない。